

訪日外国人にもマナーやルールを分かりやすく、自転車の高速運転への注意喚起
学生プロジェクトが、京都土木事務所と連携して「鴨川サイン」をデザイン
鴨川周辺に、平安風ピクトグラムの看板と路面標示を設置
 ～外国人向け行政看板のわかりやすさに関する実践プロジェクト～

京都女子大学（所在：京都市東山区/学長：竹安 栄子）は、本学学生による「京をつなぐプロジェクト」が京都土木事務所と連携して、外国人向け行政看板の分かりやすさを調査し、デザインした「鴨川サイン」が、2024年3月9日（土）より鴨川周辺に設置されましたので、お知らせします。

■外国人観光客の増加でルールやマナーの周知が課題に。平安風ピクトグラムや英語表記のサインを鴨川周辺に設置。

2020年6月より、「京をつなぐプロジェクト」の学生9名は、京都土木事務所と連携して鴨川周辺の訪日外国人の増加、自転車利用者の高速運転、看板デザインの統一性などの問題を解決するために、現地調査・ヒアリング・アンケート、サイン（看板）デザインに取り組んできました。

デザインした看板は「花火禁止」「バーベキュー禁止」「車・原動機付自転車の進入禁止」「川遊びの注意喚起」「自転車のスピード出しすぎ注意」「ゴミのポイ捨て禁止」「この先階段のみ」の7種類です。サインには日本語が読めなくてもわかりやすいピクトグラムを採用、京都らしさを出すために平安貴族のデザインにしました。また、これまで看板に記載がなかった英語表記を追加、ユニバーサルフォントで統一しました。今回デザインした中から規制標識3種類と注意標識2種類が、鴨川周辺7ヶ所に設置されました。今後も順次、設置される見込みです。

規制標識(鴨川条例)			
No.1 花火禁止 三条大橋下流右岸	No.2 バーベキュー禁止 鴨川・高野川合流部	No.3 車・原動機付自転車の進入禁止 三条大橋下流右岸スロープ上段	
			
注意標識			
No.4 川遊びの注意喚起 (2024年3月現在 未設置)	No.5 自転車のスピード出しすぎ注意 七条大橋下流左岸など4ヶ所 路面標示シート	No.6 ゴミのポイ捨て禁止 三条大橋下流右岸スロープ上段	No.7 この先階段のみ (2024年3月現在 未設置)
			

【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク（プランニング・ボート内）福嶋・井上 Tel：06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 北山・堀川・竹縄 Tel：075-531-7054

京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

「外国人向け行政看板のわかりやすさに関する実践的プロジェクト」 概要

■設置日 2024年3月9日（土）

■設置場所 看板：鴨川・高野川合流部、三条大橋下流右岸、三条大橋下流右岸スロープ上段
路面標示シート：七条大橋下流左岸、荒神橋下流左岸、北大路橋下流右岸、北大路橋上流右岸
計7ヶ所

■デザインの種類 7種類 規制標識 「花火禁止」「バーベキュー禁止」「車・原動機付自転車の進入禁止」
注意標識 「川遊びの注意喚起」「自転車のスピード出しすぎ注意」
「ゴミのポイ捨て禁止」「この先階段のみ」

■制作 京都女子大学「京をつなぐプロジェクト」メンバー9名
※アドバイザー 現代社会学部 現代社会学科 諏訪亜紀（すわあき）教授

■活動経緯

2020年度	6月	学内公募型事業「らしつよチャレンジ」※の支援を受け、外国人向け行政看板のわかりやすさに関する実践的プロジェクト開始
	9月～11月	自転車利用者に関するサイン2種類を対象に、現地調査・ヒアリング・アンケート調査を行い、デザインの修正案を検討
	3月	第51回鴨川府民会議にて成果を発表
2021年度	検討対象をサイン7種類に拡大。 継続して京都女子大学と京都土木事務所の連携のもとサインデザインの検討	
	9月	既存サイン6種類に対するヒアリング調査
	9月～3月	ピクトグラム案と鳥獣戯画案のデザイン案を作成
2022年度	ヒアリング・アンケート調査、鴨川府民会議の意見などを踏まえデザインの修正	
	4月～5月	ピクトグラム案と鳥獣戯画案に対するアンケート調査
	6月	第56回鴨川府民会議にてアンケート結果及び修正方針の報告
	6月～7月	ピクトグラム案に絞りデザイン案のブラッシュアップ
	8月	モックアップ（実寸模型）を作成し、現地確認
	9月	第57回鴨川府民会議にてデザイン修正案（ピクトグラム案）の報告
	12月	第17回 京都から発信する政策研究交流大会 「大学コンソーシアム京都理事長賞」受賞
2023年度	3月	第63回鴨川府民会議にて設置報告

※学生主体の取り組みを支援して、本学の使命である「らしさをつよさに未来をひらく」の体现をめざす学内公募型事業

《メンバーのコメント》

プロジェクトリーダー 近藤優衣（こんどうゆい）さん（現代社会学部現代社会学科 2022年度卒）

近年、多くの外国人観光客が京都を訪れる中で、地域住民の方はオーバーツーリズムを感じ、訪日外国人の方はマナーやルールが分からず、旅行に来たのに不快な思いをする、という事があるのではないかと思います。鴨川でのバーベキュー、花火、電車内での通話など、マナーの問題に限らず、災害時の対応など、看板の意味が分からず、訪日外国人の方が困ることはあると思います。そこで、訪日外国人の方に視点をあてた活動ができないかと考えたのが、今回のプロジェクトのきっかけです。

看板の調査を進める中で驚いたのは、英語表記がなかったことです。しかし、この結果を基に私たちがアクションを起こすことは、訪日外国人と京都、双方のためになると思い、プロジェクトを進めました。コロナ禍であっても、ITツールを駆使することで、メンバーの理解度や認識、意見など共有することができました。今回の看板設置が1つの起点となり、市内観光地に同様の取り組みが広がっていくといいなと思っています。

デザイン担当リーダー 上田菜月（うへだなつき）さん（家政学部生活造形学科 4年）

「誰が見ても分かる」「京都らしさ」の2つを両立したデザインになるよう、デザイン担当4名で意見を出し合いました。当初、鳥獣戯画のデザインもあり好評でしたが、描画の線が細かいことから、分かりやすい平安貴族のピクトグラムを採用しました。設置された看板は、目を引く大きさにもかかわらず、景観を損ねることもなく、以前からあったように周囲に馴染んでいます。コロナ禍だったため、デザイン案を非対面でまとめるのが大変でしたが、意欲的な先輩方と楽しい時間を共有できました。学生の間に実際に設置される看板のデザインに関わることはあまりないので、貴重な経験をすることができました。



看板・路面標示シート設置場所

